

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校複数学年 教科 など その他

家庭とつなぐデジタルポートフォリオの活用

使用するアプリケーション等
ClassCloud

単元・題材 跳び箱運動の学びを検討しよう!

本時の目標 跳び箱運動での自分の成長を伝え、互いの良さを引き出すことができる。(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・タブレットに撮りためていた体育の授業中の動画の中から、自分が残しておきたい動画を選び、デジタルポートフォリオを作成することができるようになる。
- ・授業外でもいつでもどこでも学びを振り返ることができる。
- ・ポートフォリオを残すことで来年度以降にも学びを振り返ることができる。
- ・通知表での評価等では、伝わりにくかった様子や成長の過程を家庭に伝えることができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 体育科の授業 (跳び箱運動を例に)

- 20年以上前から跳び箱の試技動画を授業中に撮影し、活用している授業は行われていた。
- 1人1台ではないので、各自が動画を撮りためることはできなかった。
- 1人1台の環境でなかったため、授業中に使いたい時にいつでもタブレット端末を活用することはできなかった。

2 授業を振り返る

- 授業の終末に学習カードに振り返りを残したり、作文や絵日記などの残しておくことはできた。
- 自己評価する時には、学習を記憶に残っているものを思い出しながら自己評価していた。

3 家庭に伝える

- 通知表の評価などでは、伝わりにくい部分があった。特に体育の授業は、授業参観を行うか、動画を撮影し、懇談会等で流す等の方法をとらないと伝わらなかった。
- 児童が授業の様子を伝えようとしても、保護者に伝わりにくかった。



DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 授業前

- ① 授業中に撮った動画の中から、**ポートフォリオする動画を選ぶ。**(今回は跳び箱運動の学習)
 - 単元初め、単元途中、単元終わりの動画から1つずつ選ぶ。
 - **動画に題名とふり返りを入力する。**
 - **ポートフォリオの作成は、ClassCloud(アプリ)を使用した。**



2 授業中

- ① ポートフォリオ検討会の流れを確認する。
 - 4年2クラス、5年3クラスをシャッフルして、5クラスを混ぜたグループを作る。
 - グループ内で発表した後に、聞いていた人は質問や感想を伝えることを確認する。



② 検討会をする。

- **単元内での自らの学びについてグループの友達に伝える。**
- **動画を選んだ理由や自分が成長したところ、自分が思ったことや考えたことを伝える。**
- 聞いていた人は、発表後質問や感想を伝える。
- 対話を繰り返すことで、自らの学習について深く振り返り、自己評価能力を高めることができる。
- **全員の発表後、コメントやスタンプを送り相互評価する。**SNSライクなアプリを使用させることでSNSの上手な活用な仕方の学習にもつながる。



3 授業後

- ① 家庭でポートフォリオを使って学習の成果を報告する。
 - 単元内での自らの学びに検討会での学習も付け加えて家庭で報告する。
 - 保護者の方にも質問や感想を伝えてもらう。
 - 保護者の方にとっては、学びに対しての声かけの仕方を見直すきっかけとなる。
 - **保護者の方にもコメントをアプリ内に入力してもらうことで、児童と保護者と教師の三者を結ぶ。**



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・保護者からも学習の様子がよく分かったという言葉を多く頂いた。
- ・検討会を行う時数を捻出することが課題。
- ・動画と自分のコメントを入力してそれを保護者に見てもらっただけでも実践は可能だと思われるが、検討会を行い、児童が自らの学びを語れるようになると自己評価能力も向上し、家庭と教師が両輪となり児童を育成していくことができる。
- ・動画とコメントを入れられるアプリ等は、自治体によって環境が違うので、その自治体にあった方法を考えていくことが必要。